

2023年10月期（第42期） 決算報告補足資料

2023年12月11日

株式会社システム デイ

代表取締役社長 藤田 雅己

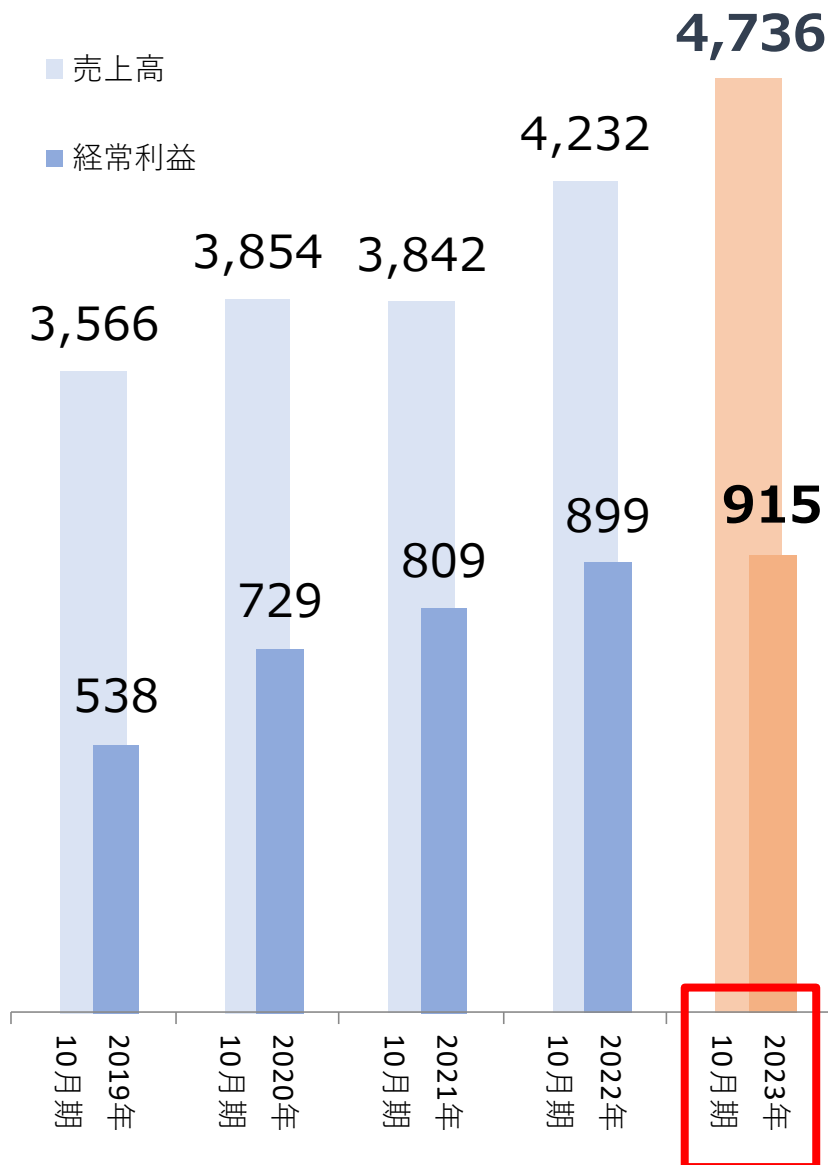


■ 2023年10月期（第42期） 決算の概況

証券コード
3804



(単位：百万円)



売上高 ▶ 計画やや上振

対予算：+ 115 百万円 (102.5%)

対前年：+ 504 百万円 (111.9%)

経常利益 ▶ 計画通り

対予算：+ 7 百万円 (100.9%)

対前年：+ 15 百万円 (101.7%)

第42期は、引き続きの増収増益の目指した結果、

計画を上回る 実績を残すことができ、

売上、利益とも史上最高額となる業績となった。

- グループ全体では計画達成。**全事業部が概ね計画通り**に着地でき、それぞれ紆余曲折はあったものの、順調な業績を残すことができた。
- **ストック売上**は対前年で**約2.3億円増**。順調にストック収益を積み上げることもできている。既存ユーザーを維持するとともに、新たにサポート契約を締結、およびクラウド契約を追加できた結果である。
- 公教育S、ウェルネスSの**仕入販売増**が売上及び利益率に与えるインパクトが大きかった。（前年比での売上額の伸びほどは増益とはならなかった理由の一つ。）
- **基本給ベースアップを実施**することができ、また約84百万円の人件費増を吸収して計画達成できことは、来期につながる成果である。
- **中村牧場株式会社の子会社化**により、**AI技術**に関する研究開発の第一歩を進めることができた。パッケージシステムへの応用が今後の課題。
- 福利厚生については、**メンバー同士のコミュニケーションを促進**する様々な新しい取り組みを実施できた。
- 組織力の強化については、**管理職による部下のマネジメント力強化**に取り組み、一定の成果を出しつつある。

当初計画比

(単位：百万円)

	2023年10月期 当初計画値	2023年10月期実績		
		実績	計画増減	計画比 (%)
売上高	4,621	4,736	115	102.5%
売上総利益	2,046	2,067	20	101.0%
営業利益	909	913	5	100.5%
経常利益	907	915	8	100.9%
当期純利益	621	632	11	101.8%

前年同期比

(単位：百万円)

	2022年10月期 実績	2023年10月期実績		
		実績	前年増減	前年同期比 (%)
売上高	4,232	4,736	504	111.9%
売上総利益	1,953	2,067	114	105.8%
営業利益	897	913	16	101.8%
経常利益	899	915	16	101.7%
当期純利益	591	632	41	107.0%

貸借対照表

証券コード
3804



総資産 6,245 百万円 (前期 5,899 百万円)

純資産 4,093 百万円 (前期 3,579 百万円)

自己資本比率 65.5 % (前期 60.7 %)

事業の幅を広げるため、
M&Aにより中村牧場株式
会社を買収・子会社化。

連結会計年度 (2023年10月31日)

借 方		貸 方	
流動資産		流動負債	
2,212 百万円		1,516 百万円	
(前期末比 93百万円増)		(前期末比 82百万円減)	
固定資産		固定負債	
4,032 百万円		635 百万円	
(前期末比 253百万円増)		(前期末比 85百万円減)	
資産合計 6,245 百万円		負債純資産合計 6,245 百万円	

■ 売上高・経常利益の推移

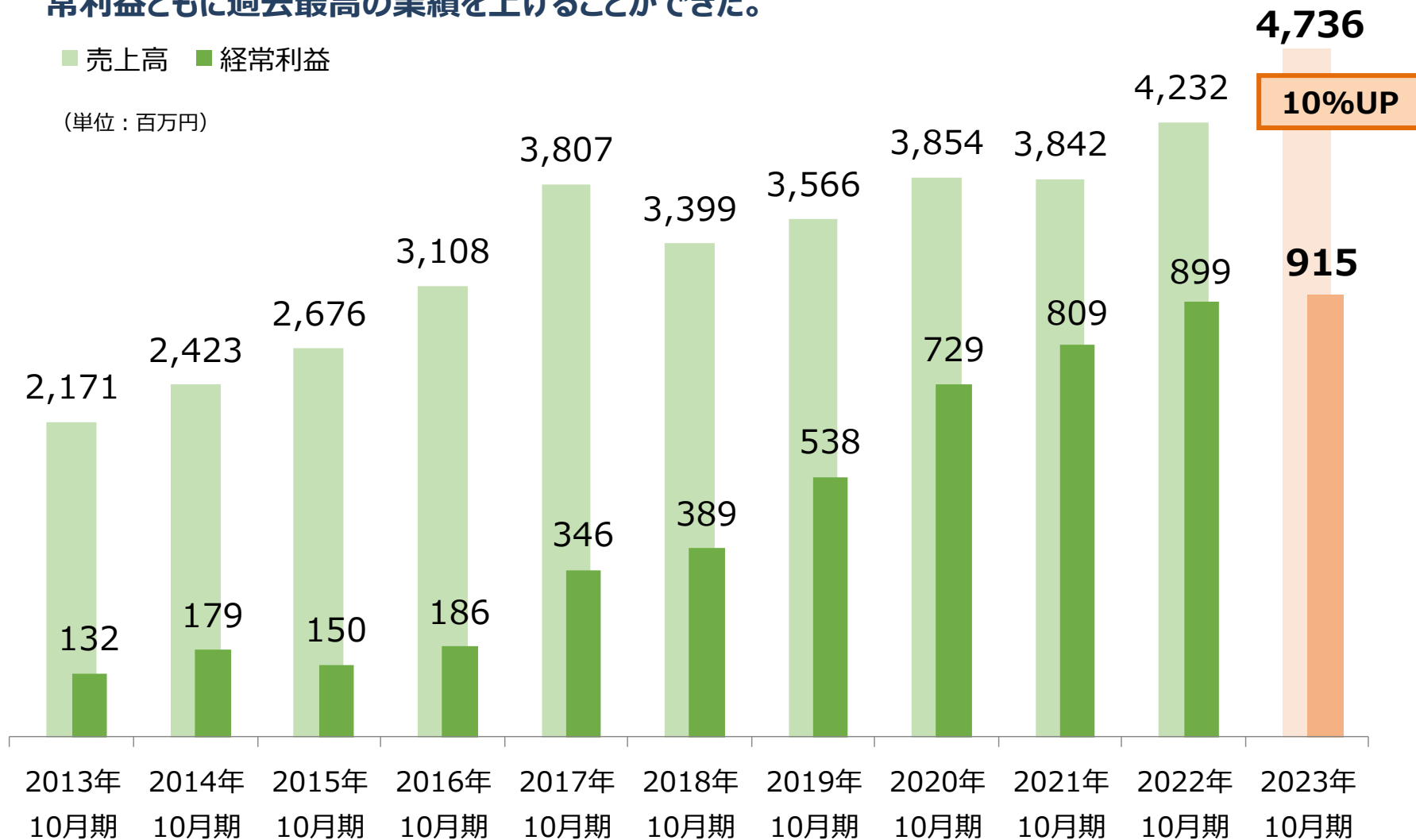
証券コード
3804



2023年10月期も、着実に増収増益で推移。売上高では対前年比で10%増となり、売上高・経常利益ともに過去最高の業績を上げることができた。

■ 売上高 ■ 経常利益

(単位：百万円)

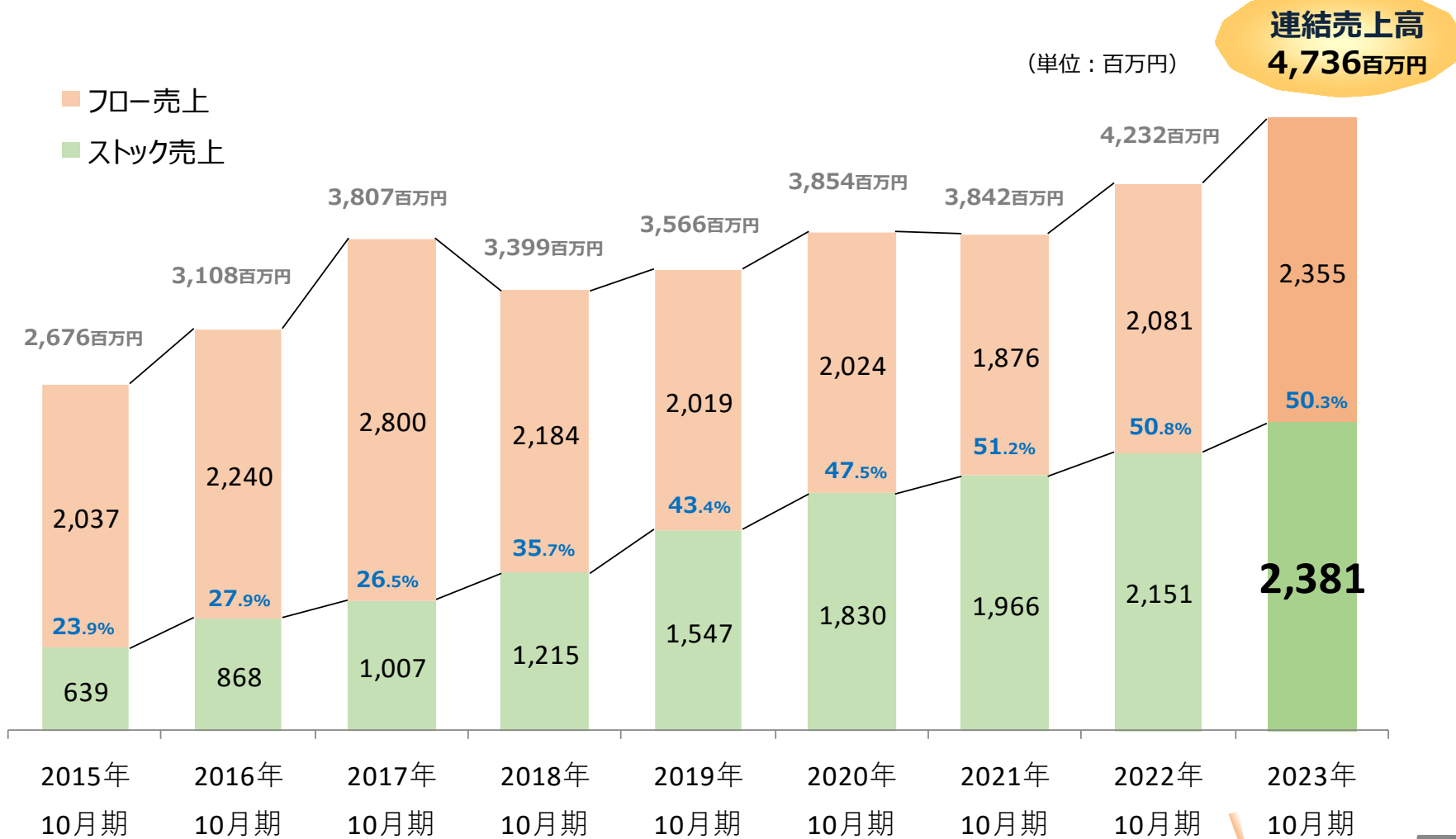


■ 売上内訳（フロー／ストック売上）推移

証券コード
3804



サポート契約＆クラウド契約の堅調な増加を背景に、2021年10月期以降、ストック売上高が全売上高の50%を超え、フロー売上高を上回る。

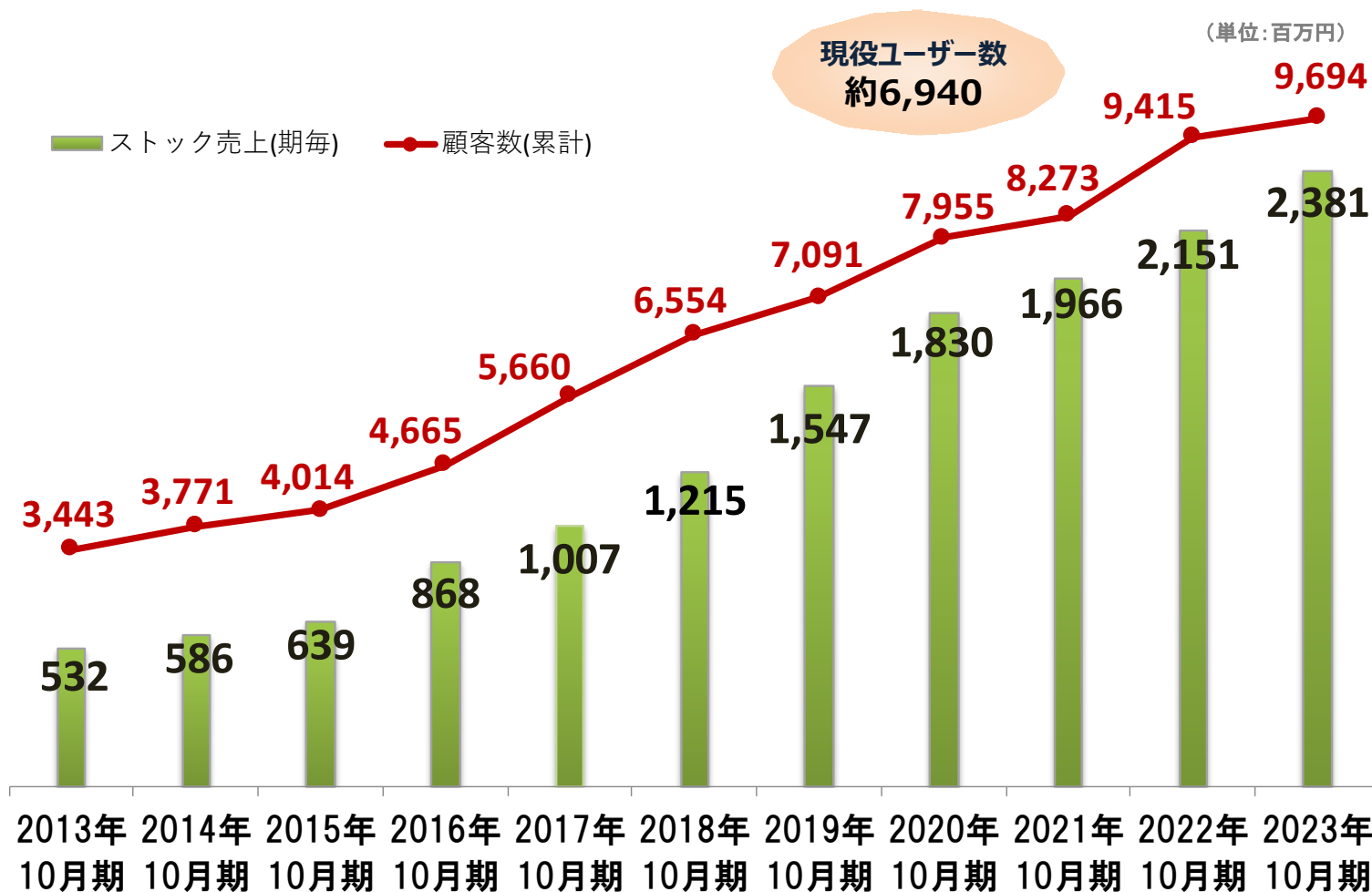


■ スtock（ランニング）収益の伸張

証券コード
3804



ストック収益を構成するサポート契約／クラウド契約の1ユーザー当りの単価は数万円から数千万円まで幅が大きいですが、現役ユーザーとの契約金額の合計は、23億円を超える売上高となっている。



○**公教育S** は、既に稼働した4つの大型県案件（北海道、新潟県、愛知県、富山県）の対応に加え、5月以降にも山口県、岩手県の全小中学校、及び大阪府のWEB出願システムを落札し、安定的なストック売上に加えて、新規導入による大型のフロー売上も計上することができた。

スクール エンジン
School Engine

○**学園S** は、慶応義塾大学、国立高知大学、北陸先端科学技術大学院大学、大阪産業大学等の大型案件の受注、導入を行い、業績に回復の兆しを見せることができた。

新サービス『Campus Plan Smart』の導入実績が増えつつあり、今後の拡販に向けたスタートをようやく切ることができた。

 Campus Plan
Smart

○**公会計S** は、当初計画通り、『PPP』によるフロー売上は第41期で概ね終了し、第42期以降『Common財務会計システム』が軌道に乗るまでの間端境期を迎えている。大きな新しいフロー売상을期待することはできないが、既存ユーザーからのストック収入により、計画以上の業績は残している。

PPP
Principal Publicaccounting Package

Common
コモン財務会計システム

○**ウェルネスS** は、新サービスの『Smart Hello』が引き続き好調で、今期の目標を上方修正して「第42期に新たに180ユーザー稼働」を達成することができた。また、アフターコロナのフィットネス業界復調に伴い、大規模顧客の仕入販売が好調で、計画を上回る業績を上げることができた。



Smart Hello



Smart Hello

○**ソフトE** は、引き続き着実に業績を伸長。**シンク** は、資格確認システムで売上追加。

第42期 事業部別売上構成

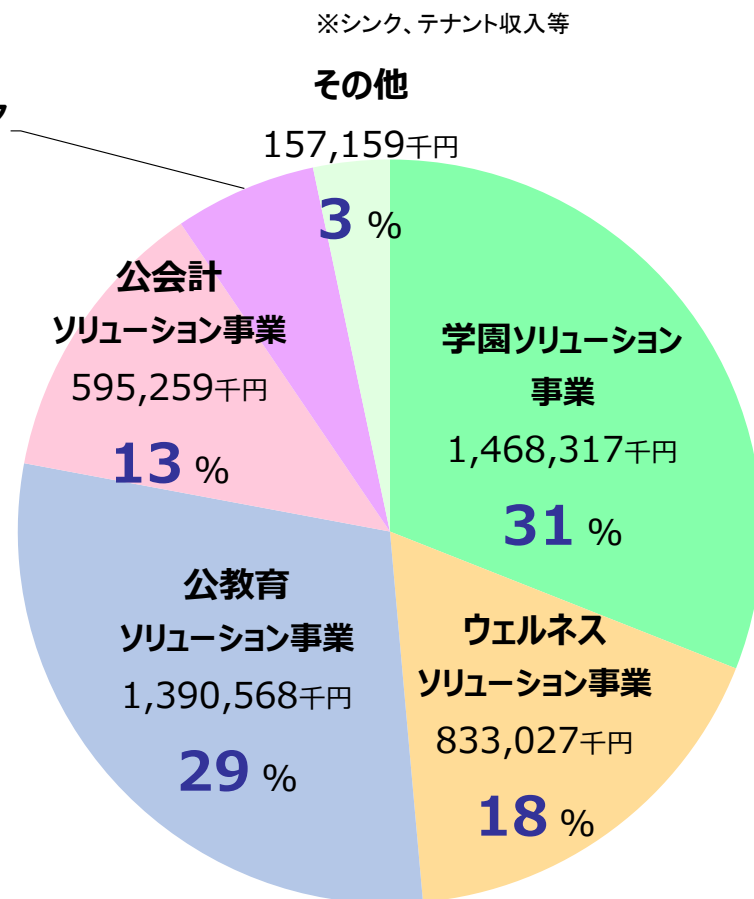
学園Sと公教育Sで全社売上高の6割近くを占める。特に公教育Sが、利益額、利益率ともに貢献しており、グループ全体の屋台骨となっている。公会計SとソフトEの利益率も高い利益率を誇っている。

単位：百万円

	売上額	※調整後 営業利益	利益率	全社利益に 占める割合
学園S	1,468	185	12.6%	20.3%
ウェルネスS	833	38	4.7%	4.2%
公教育S	1,390	404	29.1%	44.2%
公会計S	595	175	29.5%	19.2%
ソフトE	292	111	38.2%	12.2%
【連結】	4,736	913	19.3%	

※間接経費を人数按分して減算しています。

ソフトウェア
リング事業
292,514千円
6 %



売上総額：4,736,844 千円

■ 収益性・安定性に関する指標の推移

証券コード
3804



KPIとして特に重視している売上高営業利益率は、コロナ禍特有の特殊事情で20%を超えていたが、引き続き今後もこの20%前後の水準を保てるよう効率の高いビジネスを展開していく。
ROE/ROA、自己資本比率は、引き続き高い水準を維持。

	2016年 10月期	2017年 10月期	2018年 10月期	2019年 10月期	2020年 10月期	2021年 10月期	2022年 10月期	2023年10月期 実績
1株当たり 当期純利益 (EPS)	20.6円	36.7円	39.8円	59.0円	78.7円	89.3円	92.4円	98.8円
自己資本 当期純利益率 (ROE)	7.9%	12.8%	12.4%	16.2%	18.5%	18.9%	17.7%	16.5%
総資産経常利益率 (ROA)	5.0%	9.3%	10.3%	13.5%	16.8%	17.5%	17.0%	15.1%
売上高営業利益率	6.2%	9.2%	11.5%	15.0%	18.9%	21.0%	21.2%	19.3%
自己資本比率	46.4%	54.1%	56.9%	61.6%	65.2%	66.0%	60.7%	65.5%
1株当たり純資産 (BPS)	270.1円	304.7円	339.1円	391.1円	459.4円	484.0円	559.0円	639.3円

※ 2018年5月に1：2の株式分割を実施しており、それ以前の数字は株式分割後に換算した値です。

今後ともシステム ディを宜しくお願い致します。



株式会社 システム ディ
代表取締役社長 藤田 雅己